

海水浴場は明治十七年に横浜海浜通りに開設され、以後湘南・房総の海岸に広まった。遠くで泳いでいるのは西洋人らしい。

この男からプレゼントされた「海浜着」を着て、海浜を戯れる芸者辺りかも知れない。

海水浴場は更に関西にまで広がったと言うが、そこでは男は褌・女は腰巻で水浴を楽しんでいたそう。

海水浴場の誕生頃から、日本でも洋風海水着を着る人が出てきて「西洋腰巻」と呼んだと言う。



自転車の利用法(明治二十六年)

前輪が物凄く大きく、後輪が極めて小さい。

座席は、高かったので、乗り降り「昇降」と呼んだそう。

空気の入っていない車なので、このような速さでは危険であったに違いない。

使い始めた当時は、度々故障するので、修理のために時間と経費が重なる、大変であったそう。

しかし、流行の先端で郵便夫はもてたそう。